

古き良きカンボジアが残るクラチェ州 ～サッカーで子供達を笑顔に～

私は、プノンペンの北東部に位置し、プノンペンから車で4～5時間かかる、クラチェ州に住んでいます。クラチェ州は、河イルカ(プサオ)が有名で、乾季には沢山の観光客が、河イルカを見に来ます。その他にも、コットロンと言う一周9km程の小さい島があり、自転車をレンタルし、のんびりと島を回るのもとても気持ちが良い、私のオススメするスポットでもあります。

ところで、クラチェ州で何をしているの?と思う方が沢山いると思います。簡単に説明すると、クラチェ州にあるサッカーアカデミー校U-15・U-18の選手にサッカー指導を主に行なっています。このアカデミー校は、U-15 25人、



Academyを指導している様子

JICA Plaza Cambodia

6th floor, Building #61-64, Preah Norodom Blvd., Phnom Penh
tel : 023-211-673

<https://www.jica.go.jp/cambodia/office/about/ngodesk/about.html>

※ご相談がある場合は予約が必要です。

U-18 25人、指導者4人、JOCV 1人 合計55人の選手と指導者が登録されています。実際、練習に来る選手は、20人前後で、50人全員が揃う事はありません。日々、選手が毎日練習にきてくれるようになるにはどうすればいいのかなど、いろいろと考えながら生活しています。Academyの練習は夕方なので、朝、小学校に行き、体育の授業を子供達に行なっています。小学生から高校生までの子供達と関わっていますが、みんな明るく人懐っこい性格なので毎日楽しく活動が行えています。



視察に訪れたJICAオフィシャルサポーターの北澤豪氏

宮城 晃太 MIYAGI Kota

大阪産業大学(人間環境学部/スポーツ健康学科)卒業後、2016年に沖縄のサッカークラブFC琉球(現在J2)とプロサッカー選手として契約。1年で現役引退。その後、FC琉球U-12監督、U-18コーチを務め現在、JOCVとしてカンボジアのクラチェ州でサッカーを教えている。合言葉は、『沖縄とカンボジアの架け橋』。